



写真1

月の裏側、なぜ見えない？

人類が月面に降り立つまでは、月の裏側を見た人はだれもいませんでした。地球に住む私たちが見る月面はいつも同じ面（表側）をみているのです。だから、人々は月の裏側には文明が発達した大都市があるに違いない、などと空想をめぐらしていました。

つい先日、標記の物品（写真1）が寄贈になり、その一つに月球儀なるものがありました。いわゆる月の地球儀ともいうべきものです。梱包を解いて机の上に置き、じっくりと眺めてみました。



写真3 月の表側



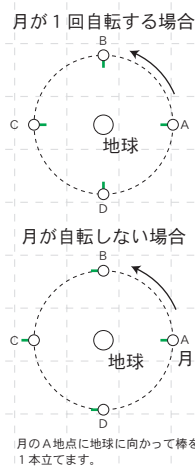
写真2 月の裏側

驚いたことに、月の裏側は隕石が落下してできたくぼ地だらけなのです（写真2）。表側（写真3）には玄武

岩の溶岩からできていた平坦な地形がたくさんありますが、裏側にはそれが全く見当たらないのです。

このことは月の表側では火山が盛んに活動した時代があったのに、月の裏側には火山活動がなかったということを意味します。なぜなのでしょう？

この疑問と、月がいつも同じように表側を地球に向けていることの間には何か事情が潜んでいるのではないのでしょうか。中学校の理科学習では「裏側が見えない」理由として、月が地球を中心に1回転する間に、自身も1回転するからである（図）と説明されています。その理由は簡単に「偶然にそうなった」と説明されています。



でも、月球儀を眺めているうちに、偶然にしては出来過ぎではないか？という疑問が湧いてきました。この疑問に興味のある方はぜひ八峰白神ジオパーク事務所にお出でください。月球儀を眺めながらナゾに挑戦してみませんか？微力ながらお手伝いさせていただきます。

海底の地形を表した地球儀を見よう

いただいた地球儀は海洋のすべての水を取り除くとどのように見えるか表現したものです。プレート運動や、海底火山の分布状態などが細やかに描かれており、地球はまあ何

と動きの激しい星なのだろうかと思えます。月と同じように地球にもたくさんの隕石が落下したものと考えられています。その時できたはずの隕石孔を地形もなく消し去っていると考えられます。



写真4 海底地形もわかる地球儀

その他、コンピュータ画像処理技術を使った地球地図の電光パネルも寄贈されました。これら寄贈品にご関心のある方々、学習したいお子さん、ぜひ八峰白神ジオパークの事務所においでください。

なお、寄贈していただいた方のお名前等を左記に明記してお礼の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございます。

株式会社 地湧社
東京都千代田区鍛冶町2-5-9

八峰白神ジオパーク推進協議会

会長 工藤 英美

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森

字ノケソリ116 旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427